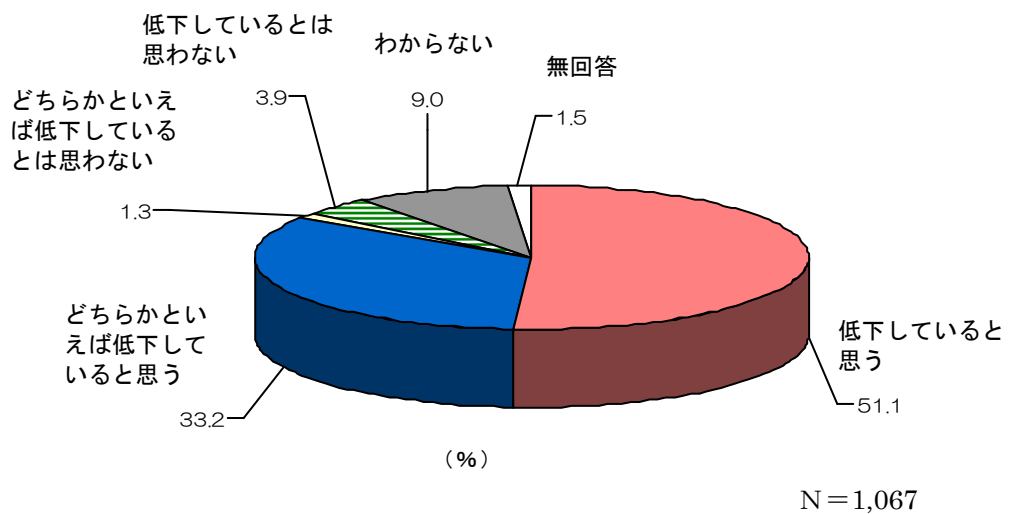


②家庭教育について

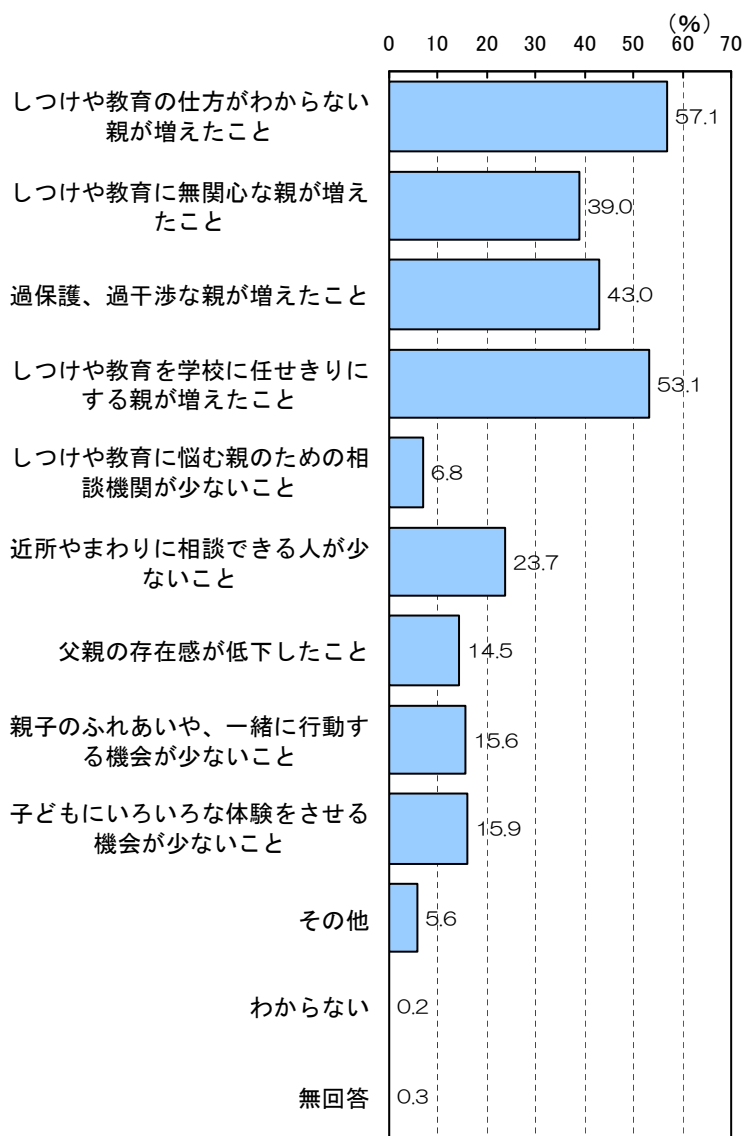
今日、様々な要因から家庭の教育力の低下が指摘されていますが、本市では子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶことを親学とおやがくと位置づけ、親学関連事業を展開しています。そこで、今回の調査で市民の家庭教育に対する意識や考え方を把握し、今後の事業運営のための参考とするものです。

問 18 あなたは、社会全体では家庭の教育力が低下していると思いますか。(○は1つだけ)



《問18で1～2と答えた方（家庭の教育力が低下していると思う方）におたずねします。》

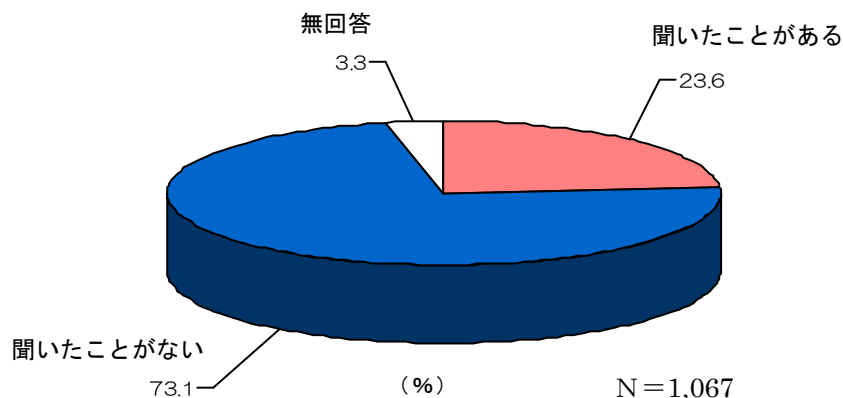
問19 あなたは、家庭の教育力の低下はどのようなことが原因だと思いますか。（〇は3つまで）



N = 899

《すべての方におたずねします。》

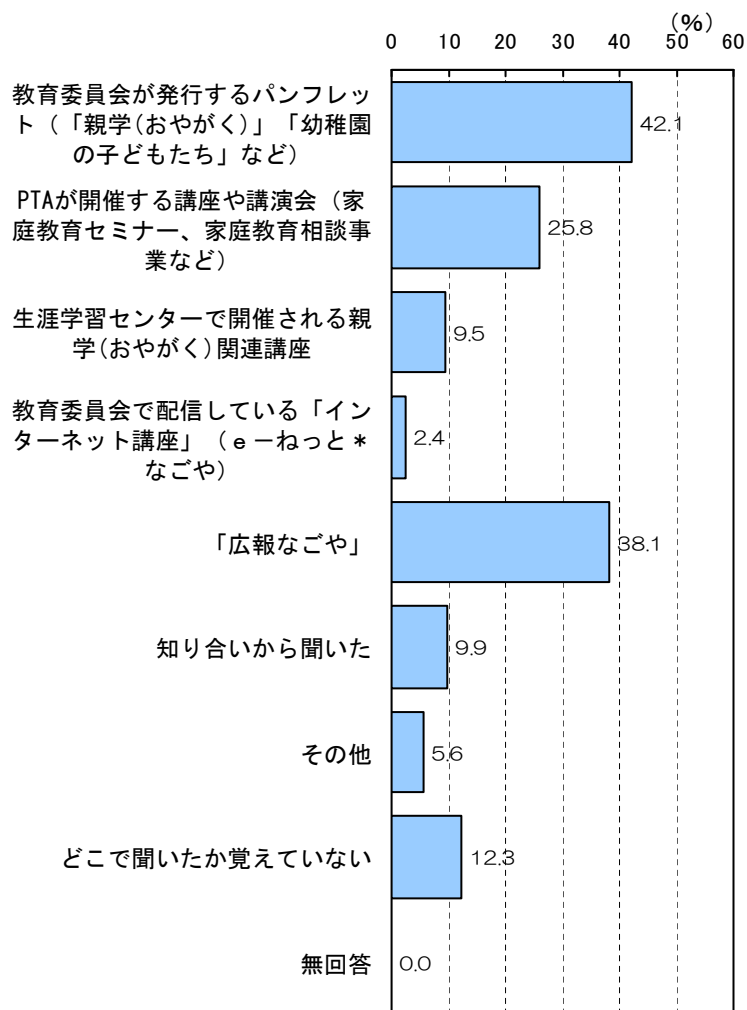
問20 あなたは、本市教育委員会が提唱しているおやがく親学という言葉聞いたことがありますか。（〇は1つだけ）



N = 1,067

「親学(おやがく)」という言葉を聞いたことがある方(問20で1と答えた方)におたずねします。》

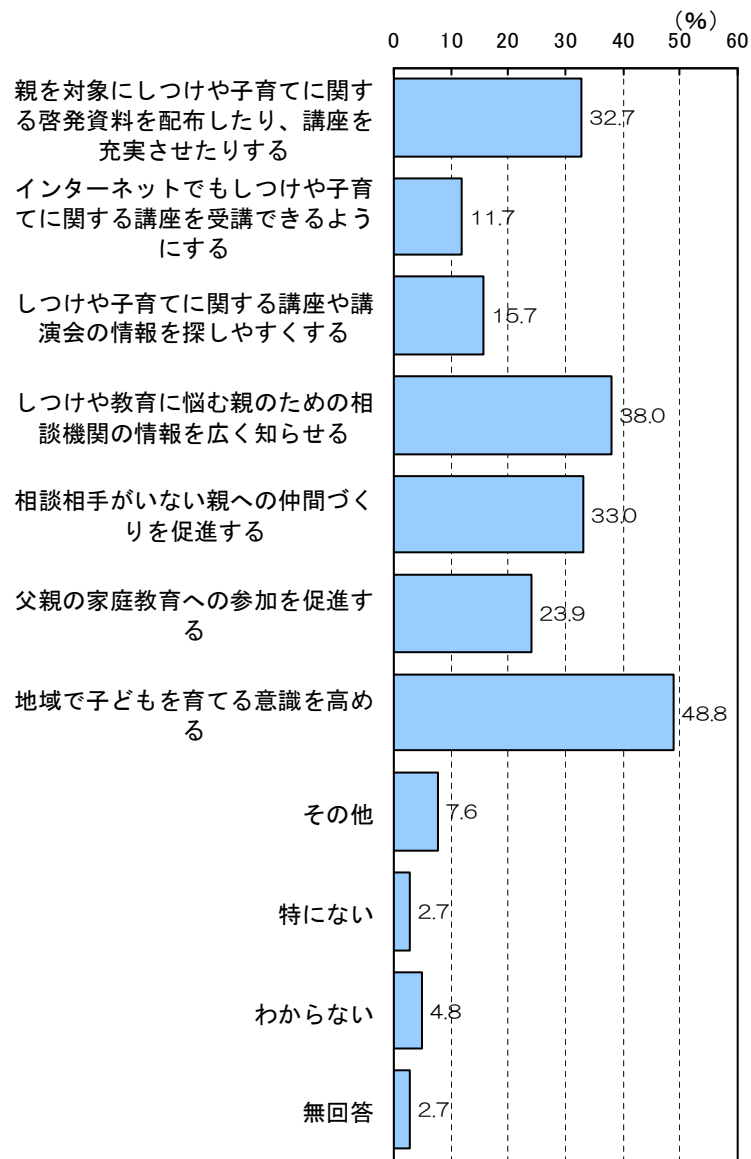
問21 あなたは、どこで親学(おやがく)という言葉を知りましたか。(〇はいくつでも)



N=252

《すべての方におたずねします。》

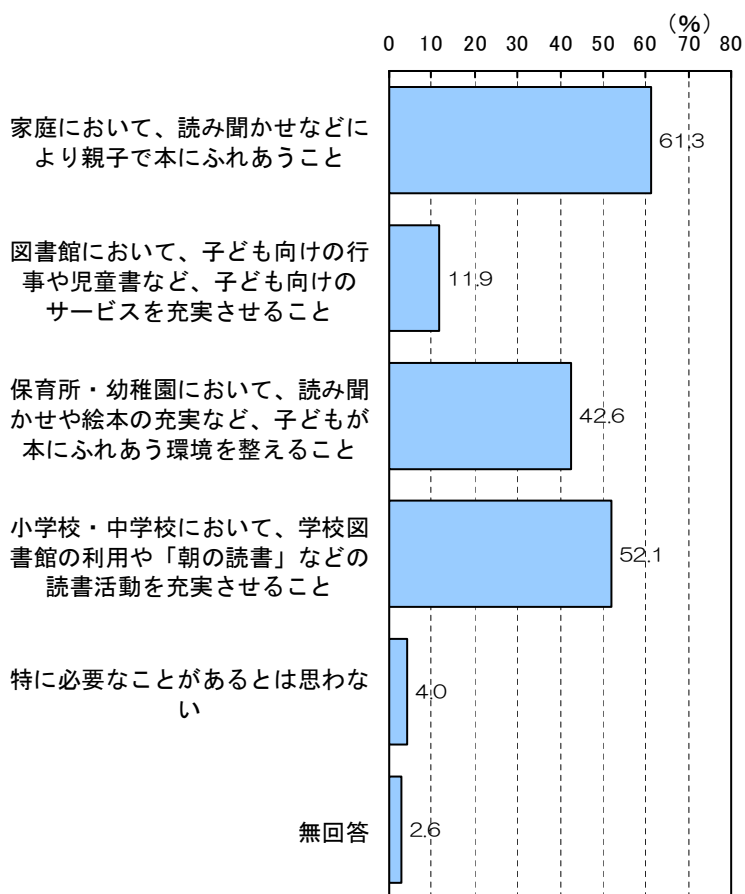
問 22 あなたは、家庭の教育力を向上させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



N = 1,067

子どもたちにとって、読書は豊かな精神を育み、幅広い知識を身につけることに役立つことから、家庭教育を考える上でも大変大きな意味をもっています。名古屋市では、すべての子どもが読書に親しむことをめざし、「読書でふくらむ子どもの夢」をキャッチフレーズとした「名古屋市子ども読書活動推進計画」をつくり、様々な取り組みを行っています。

問 23 あなたは、子どもの読書離れを防ぐための方法として、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

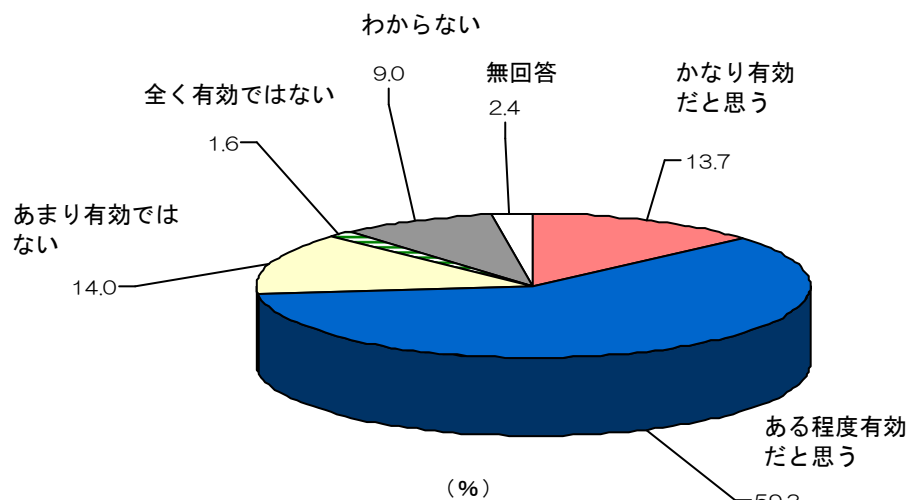


N=1,067

名古屋市では、市内の小学生が友達に薦めたい本100冊を冊子にした、「なごやっ子のおすすめ100冊（小学生版）」を市内の小学校の全学級・市立図書館に配布し、市のホームページでも閲覧できるようにしました。



問 24 あなたは、こうした取り組みは、子どもの読書離れを防ぐことに有効だと思いますか。
(○は **1つだけ**)



N=1,067